

## 令和2年の相模原市の自殺に関する統計について

神奈川県警察本部から令和2年（令和2年1月から同年12月まで）における自殺の状況のデータ提供を受け、市内で発生した自殺の状況をまとめましたのでお知らせします。

なお、今回の統計は、相模原市自殺対策協議会での審議及び自殺総合対策において活用していきます。

### 本市の状況

- 令和2年における市内の自殺者数は、123人となっている。
- 年代別では、40歳代が最も多い。
- 男女別では、男性が64.2%を占め、20歳代と50歳代では、男性が75.0%を占めている。
- 職業別では、主婦や学生を含む無職者が56.9%と最も多い。
- 原因・動機別では、不詳を除くと健康問題が最も多く、次いで家庭問題の順となっている。
- 自殺者の19.5%に自殺未遂歴がある。

問合せ先  
精神保健福祉センター  
電話 042-769-9818  
対応責任者 新田

## 令和2年における相模原市の自殺者の状況

神奈川県警察本部から令和2年（令和2年1月から同年12月まで）の自殺統計原票に基づく集計データの提供を受け、相模原市分の集計・分析を行ったので、その結果を報告する。

- 1 自殺者数・自殺死亡率の推移
- 2 自殺者の年代別・男女別状況
- 3 自殺者の職業別状況
- 4 自殺の原因・動機
- 5 自殺未遂歴の状況

※ 割合（％）については小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

### 1 自殺者数・自殺死亡率の推移

令和2年の相模原市内の自殺者数は、前年から49人増加し、123人となった。自殺死亡率は、前年から6.8ポイント増加となった。また、5年平均の自殺死亡率の推移では、前年の5年平均と同値となった（表1、表2、図1）。

＜ 表1. 自殺者数・自殺死亡率の推移 ＞

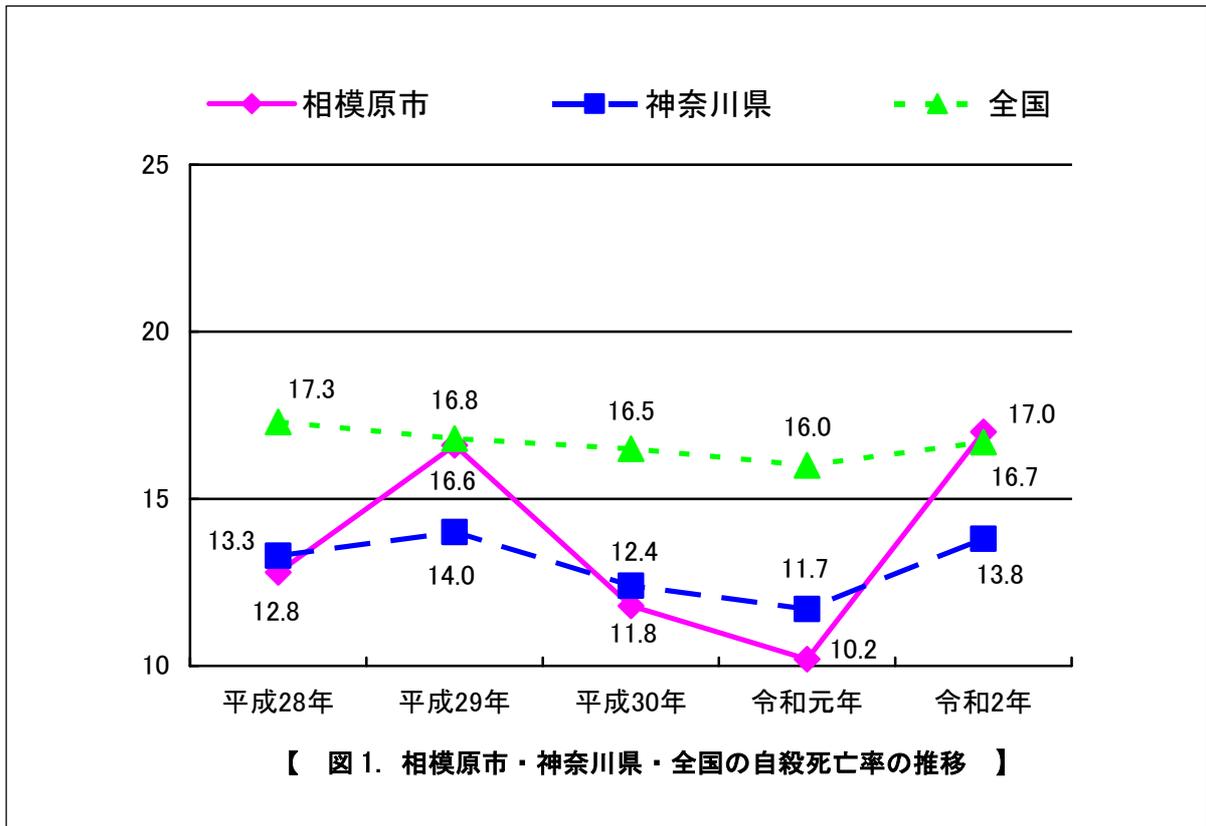
	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
相模原市自殺者数（人）	92	120	85	74	123
相模原市自殺死亡率	12.8	16.6	11.8	10.2	17.0
神奈川県自殺者数（人）	1,213	1,276	1,136	1,076	1,269
神奈川県自殺死亡率	13.3	14.0	12.4	11.7	13.8
全国自殺者数（人）	21,897	21,321	20,840	20,169	21,081
全国自殺死亡率	17.3	16.8	16.5	16.0	16.7

※自殺死亡率とは、人口10万人当たりの自殺者数

※全国の自殺者数及び自殺死亡率は、毎年3月発表の厚生労働省資料から抜粋

＜ 表2. 自殺死亡率の推移（5年平均） ＞

	平成24-28年	平成25-29年	平成26-30年	平成27-令和元年	平成28-令和2年
相模原市自殺死亡率	16.2	16.2	15.0	13.7	13.7



## 2 自殺者の年代別・男女別状況

令和2年の年代別自殺者数は、40歳代が23人で全体の18.7%と最も多くなっている（表3）。男女別自殺者数の割合は、男性が64.2%を占めている（表4）。

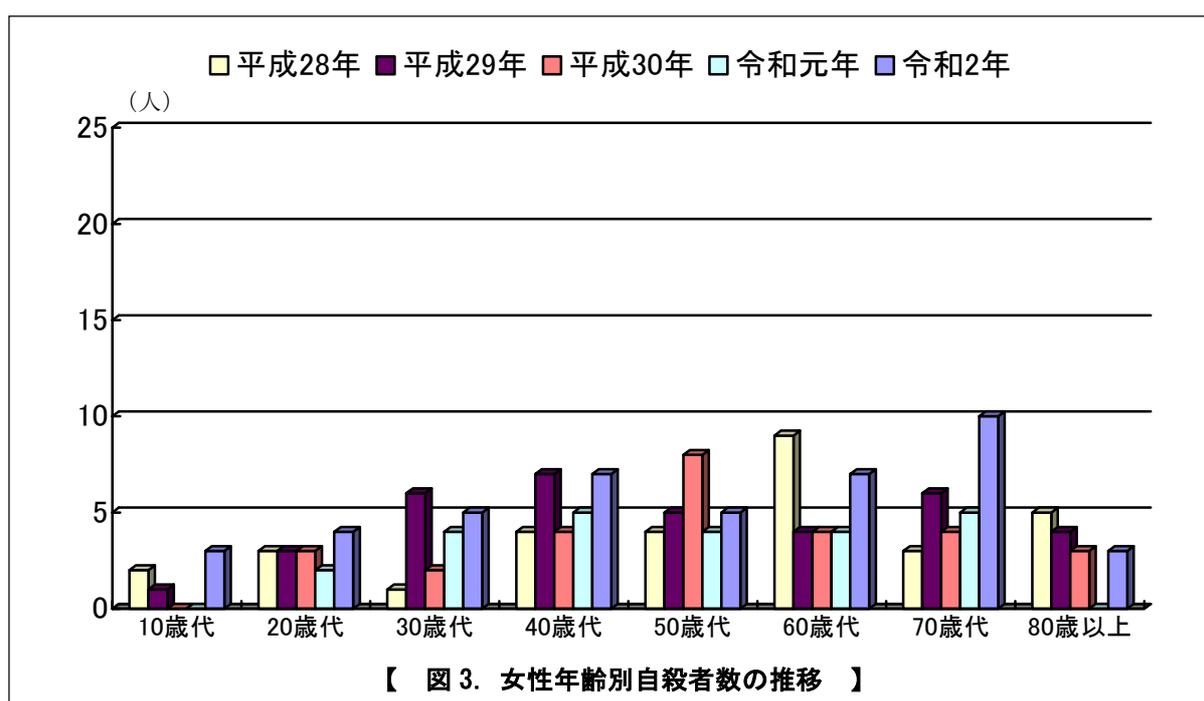
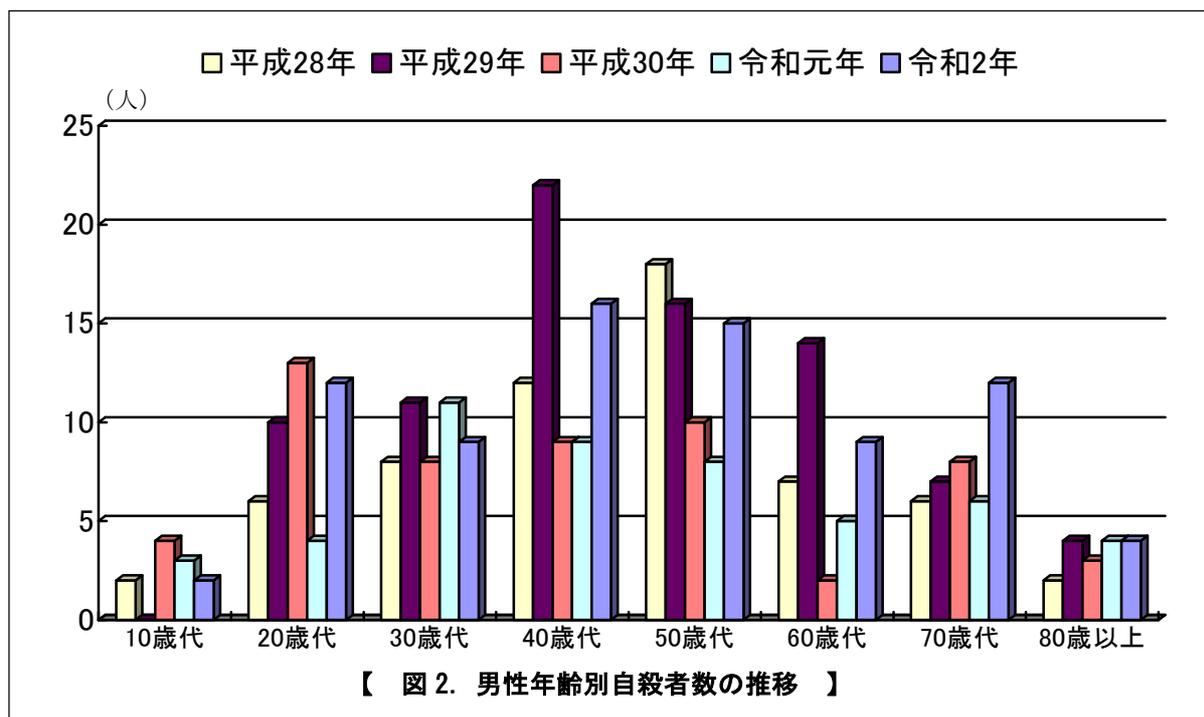
男性は40歳代が最も多く16人、女性は70歳代が最も多く10人となっている（図2、図3）。年代別男女別自殺者の割合は、10歳代を除き全ての年代において男性が上回っている（図4）。

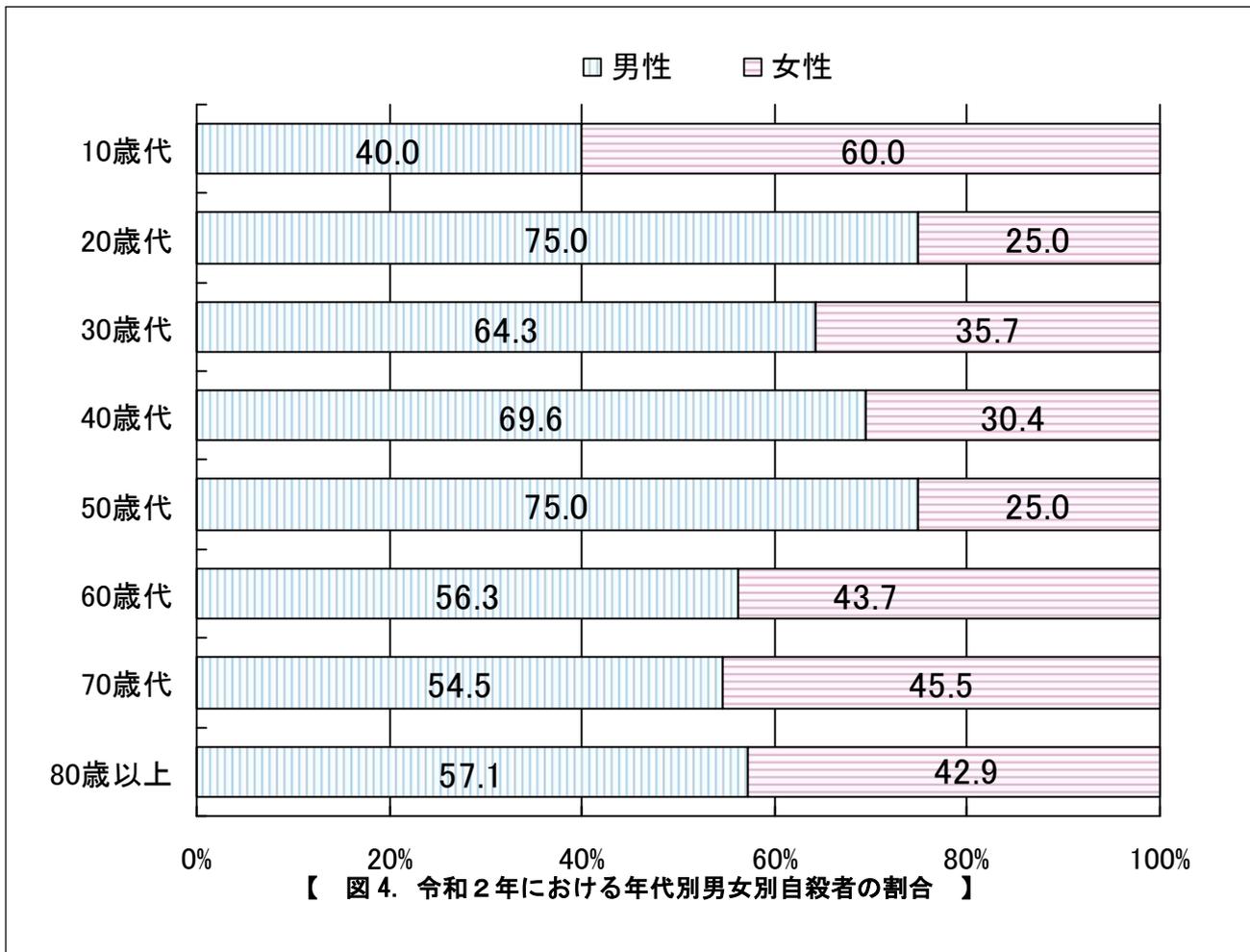
< 表 3. 年代別自殺者数と割合 >

	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		令和元年		令和 2 年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
10 歳代	4	4.3	1	0.8	4	4.7	3	4.1	5	4.1
20 歳代	9	9.8	13	10.8	16	18.8	6	8.1	16	13.0
30 歳代	9	9.8	17	14.2	10	11.8	15	20.3	14	11.4
40 歳代	16	17.4	29	24.2	13	15.3	14	18.9	23	18.7
50 歳代	22	23.9	21	17.5	18	21.1	12	16.2	20	16.3
60 歳代	16	17.4	18	15.0	6	7.1	9	12.2	16	13.0
70 歳代	9	9.8	13	10.8	12	14.1	11	14.9	22	17.9
80 歳以上	7	7.6	8	6.7	6	7.1	4	5.4	7	5.7
総計	92	100	120	100	85	100	74	100	123	100

< 表 4. 男女別自殺者数と割合 >

	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		令和元年		令和 2 年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
男性	61	66.3	84	70.0	57	67.1	50	67.6	79	64.2
女性	31	33.7	36	30.0	28	32.9	24	32.4	44	35.8
総計	92	100	120	100	85	100	74	100	123	100





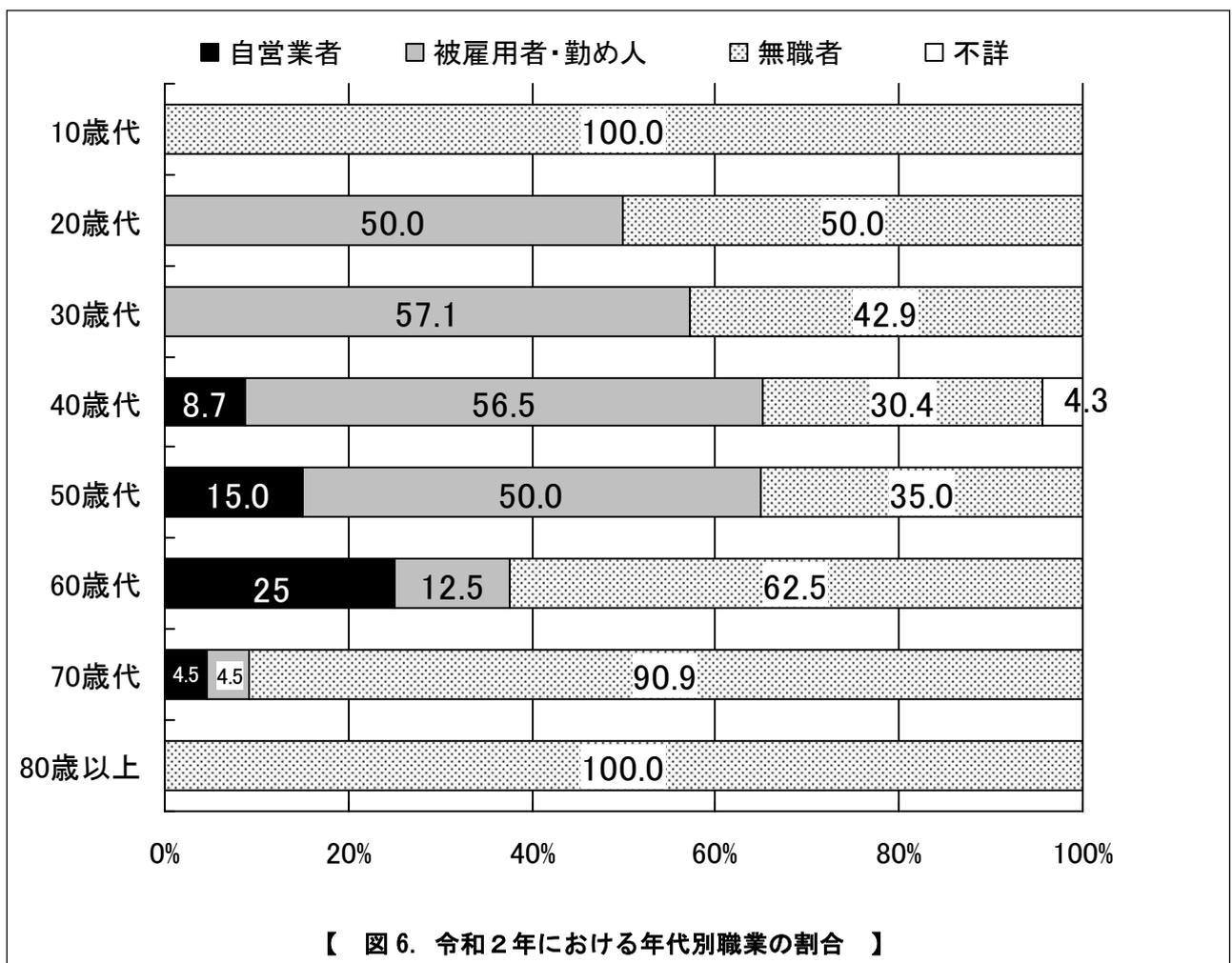
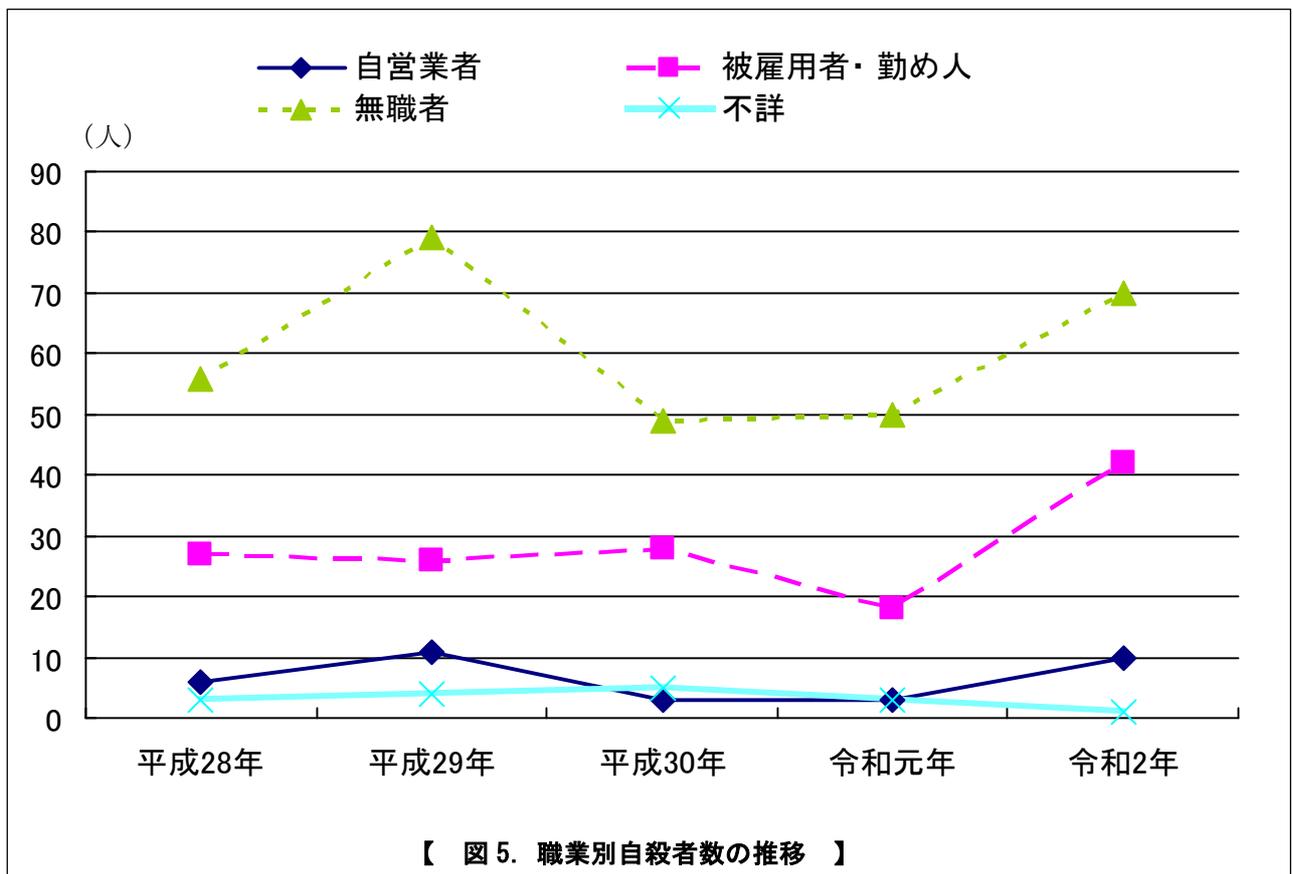
### 3 自殺者の職業別状況

令和 2 年の自殺者の職業別状況は、無職者が 70 人で全体の 56.9% を占めている（表 5，図 5）。年代別職業の割合は、20 歳代から 50 歳代までの年代で、被雇用者・勤め人の割合が高くなっている（図 6）。

< 表 5. 職業別自殺者数と割合 >

	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		令和元年		令和 2 年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
自営業者	6	6.5	11	9.2	3	3.5	3	4.1	10	8.1
被雇用者・勤め人	27	29.3	26	21.7	28	32.9	18	24.3	42	34.2
無職者	56	60.9	79	65.8	49	57.7	50	67.6	70	56.9
不詳	3	3.3	4	3.3	5	5.9	3	4.1	1	0.8
総計	92	100	120	100	85	100	74	100	123	100

※無職者には、学生・生徒等、主婦、失業者、利子・配当・家賃等生活者、年金・雇用保険等生活者、浮浪者及びその他の無職者が含まれる。



#### 4 自殺の原因・動機

令和2年の原因・動機別の自殺者の割合は、「不詳」を除くと、「健康問題」26.3%、「家庭問題」10.6%、「経済・生活問題」「勤務問題」8.8%の順で高くなっている（表6、図7、図8）。年代別では、「不詳」を除くと、10歳代・20歳代・40歳代以外の全ての年代で「健康問題」が第1位となっている（表7）。

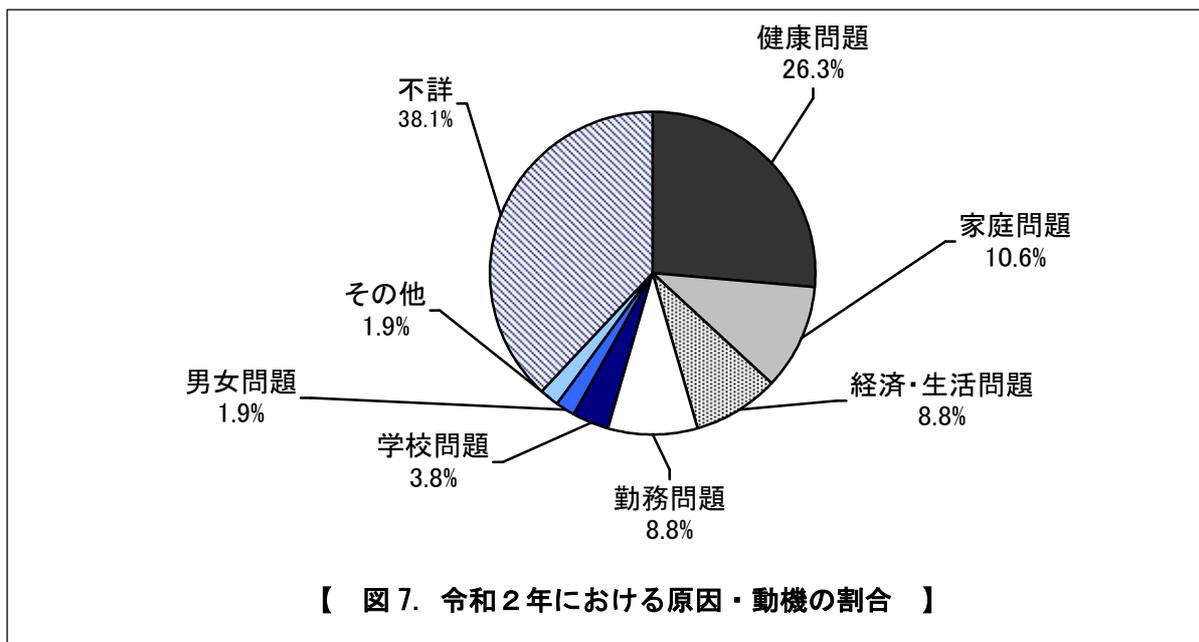
職業別では、「不詳」を除くと、「自営業者」「無職者」では健康問題が多く、「被雇用人・勤め人」では勤務問題が多い（図9）。無職者のうち、「不詳」を除くと、学生・生徒では「学校問題」が多く、主婦、失業者、年金・雇用保険等生活者及びその他の無職者では「健康問題」が最も多かった（図10）。

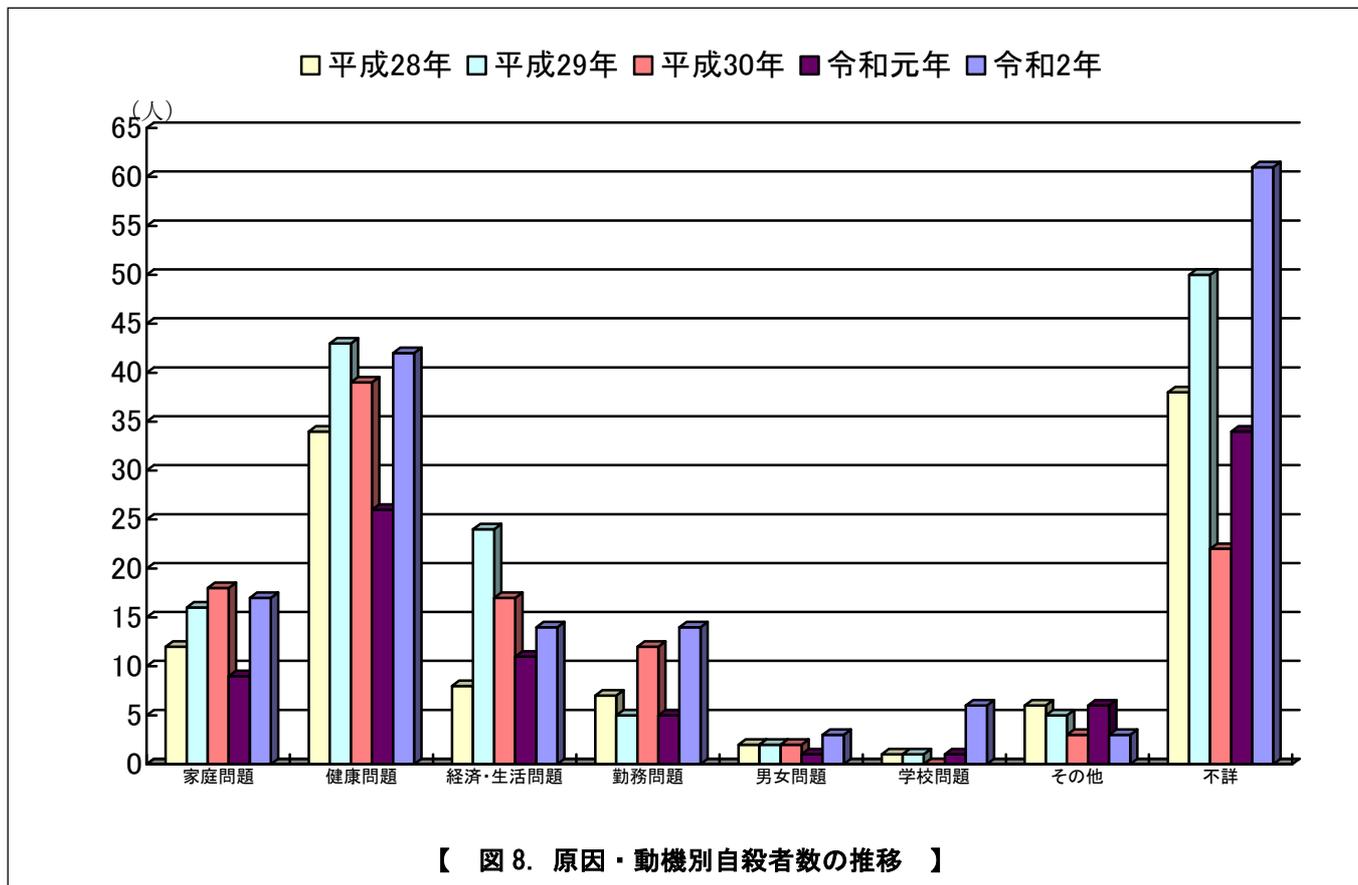
原因・動機の判断材料としては、自殺者の48.0%が原因・動機の判断材料を残していない（表8）。

＜ 表6. 原因・動機別自殺者数と割合 ＞

	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年	
	計上数 (件)	割合 (%)								
家庭問題	12	11.1	16	11.0	18	15.9	9	9.7	17	10.6
健康問題	34	31.5	43	29.5	39	34.5	26	28.0	42	26.3
経済・生活問題	8	7.4	24	16.4	17	15.0	11	11.8	14	8.8
勤務問題	7	6.5	5	3.4	12	10.6	5	5.4	14	8.8
男女問題	2	1.9	2	1.4	2	1.8	1	1.1	3	1.9
学校問題	1	0.9	1	0.7	0	0.0	1	1.1	6	3.8
その他	6	5.6	5	3.4	3	2.7	6	6.5	3	1.9
不詳	38	35.1	50	34.2	22	19.5	34	36.6	61	38.1
総計	108	100	146	100	113	100	93	100	160	100

※原因・動機は3つ以内の複数計上とし、割合は計上数に基づき算出(母数割)

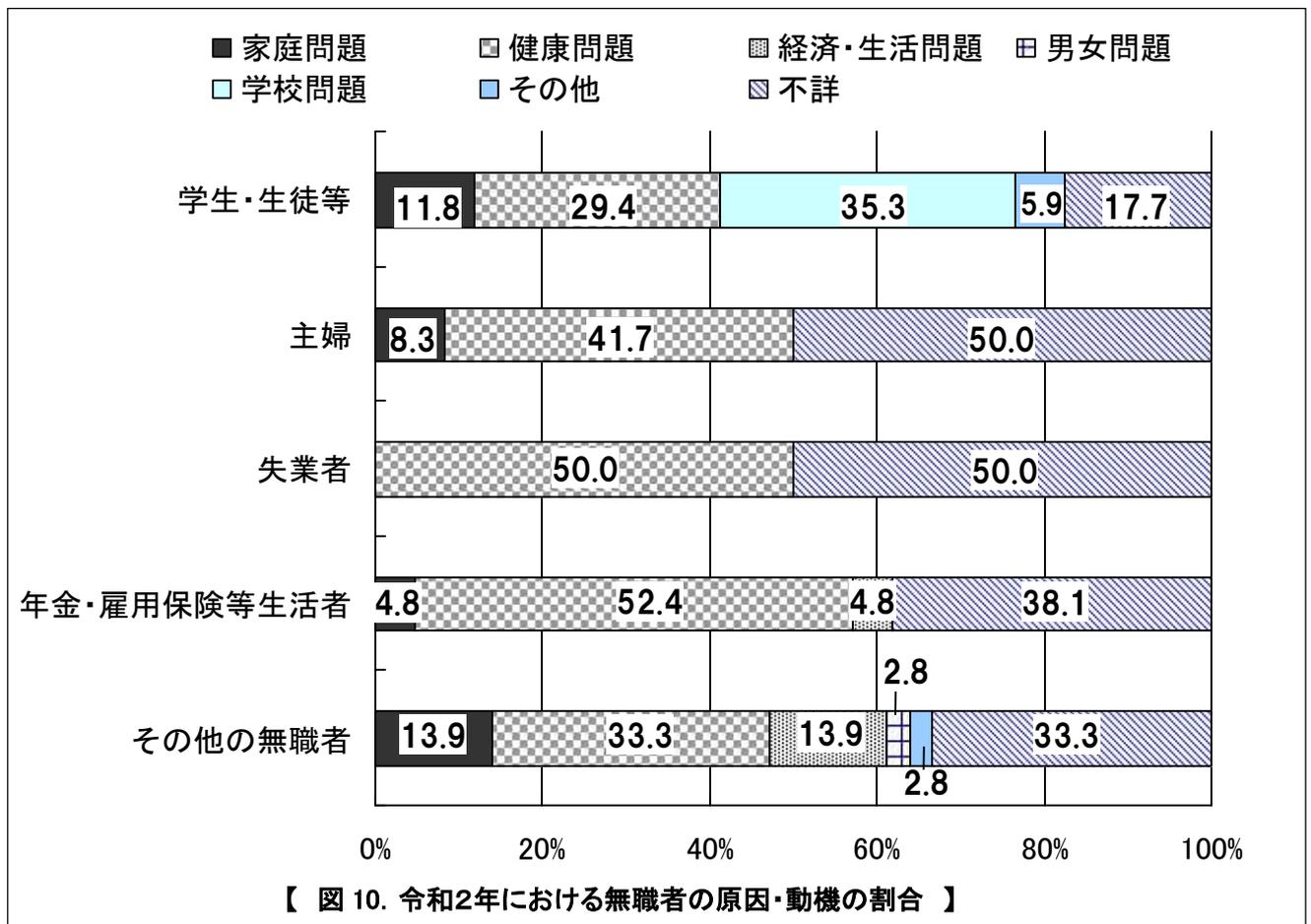
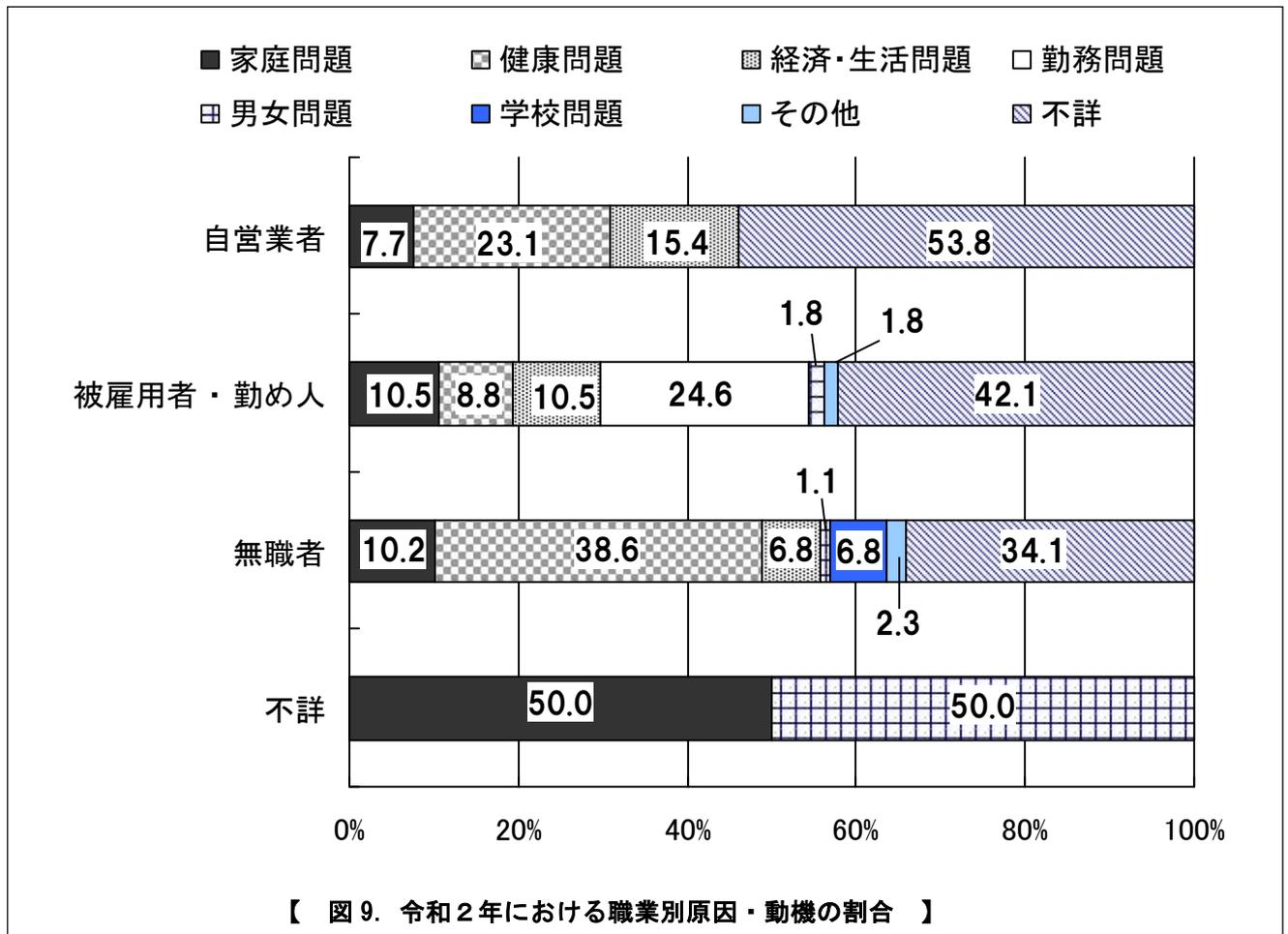




＜ 表 7. 令和 2 年における年代別の原因・動機順位 ＞

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
	原因	割合(%)	原因	割合(%)	原因	割合(%)
10 歳代～ 20 歳代	学校問題	20.7	健康問題	17.2	勤務問題	10.3
30 歳代	健康問題	26.3	家庭問題	15.8	経済・生活問題 (同数)	10.5
					勤務問題 (同数)	10.5
40 歳代	家庭問題	18.2	勤務問題	15.2	経済・生活問題	12.1
50 歳代	健康問題	28.6	家庭問題 (同数)	14.3	経済・生活問題	7.1
			勤務問題 (同数)	14.3		
60 歳代	健康問題	45.0	経済・生活問題	20.0		
70 歳代	健康問題	41.7	家庭問題	8.3	その他	4.2
80 歳以上	健康問題	28.6				
全年代	健康問題	26.3	家庭問題	10.6	経済・生活問題 (同数)	8.8
					勤務問題 (同数)	8.8

※順位は、「不詳」を除く。



< 表 8. 原因・動機の判断材料 >

	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		令和元年		令和 2 年	
	計上数 (件)	割合 (%)								
遺書	33	35.1	44	36.1	36	42.4	20	27.0	34	27.2
自殺サイト・メール等 書き込み	3	3.2	4	3.3	5	5.9	1	1.4	5	4.0
その他の生前の言動	20	21.3	24	19.7	24	28.2	19	25.7	26	20.8
該当なし	38	40.4	50	40.9	20	23.5	34	46.0	60	48.0
総計	94	100	122	100	85	100	74	100	125	100

※原因・動機の判断材料は、複数計上とし、割合は計上数に基づき算出(母数割)

## 5 自殺未遂歴の状況

令和 2 年の自殺者の 19.5%に自殺未遂歴があり、男女別では、男性が 15.2%、女性が 27.3%であった(表 9)。

< 表 9. 自殺未遂歴の状況 >

		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		令和元年		令和 2 年	
		自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
未遂歴 あり	男性	10	16.4	13	15.5	8	14.0	9	18.0	12	15.2
	女性	5	16.1	14	38.9	7	25.0	6	25.0	12	27.3
	総計	15	16.3	27	22.5	15	17.7	15	20.3	24	19.5
未遂歴 なし	男性	39	63.9	55	65.5	38	66.7	33	66.0	54	68.4
	女性	21	67.7	16	44.4	16	57.1	15	62.5	26	59.1
	総計	60	65.2	71	59.2	54	63.5	48	64.9	80	65.0
不詳	男性	12	19.7	16	19.0	11	19.3	8	16.0	13	16.5
	女性	5	16.1	6	16.7	5	17.9	3	12.5	6	13.6
	総計	17	18.5	22	18.3	16	18.8	11	14.9	19	15.4